

令和6年度

走潟公民館だより 11月号

「集い・ふれあい・学び」
走潟公民館長 芥川 学

RKK ミミー号中継と動画撮影「マルメロ会」



動画撮影中の村田会長
と芥川雄二顧問

10月2日(水)午後2時より、走潟公民館においてRKKミミー号の生中継がありました。

内容は「マルメロ会」の活動の発信でした。南地区のお元気クラブの方々16名程の応援もあり、大変賑わいました。

また、9日(水)には「SNSを活用した一般消費者向けのPR事業」(市農林水産課:担当山隈さん)の一環で「マルメロ及びマルメロ会の活動」の動画配信のための撮影会がありました。12月頃からSNS上で配信予定です。



ミミー号のインタビューを受ける会長と顧問

いねかり10・29(火)「たくさんお米がとれたよ」

前日からの天気予報では「傘のマーク」。当日は心配されましたが、無事に実施できたようです。初めに、1年生と6年生、次に2年生と5年生、締めくくりは3年生と4年生でした。今年の米は、もち米からうるち米に変更したとのこと。稲刈りの指導者は、今年も経験豊富な“老人会”の皆さんです。初めて経験する1年生には、鎌の持ち方や刈り取り方、刈り取った後の稲の束の置き方まで、手取り足取りとやさしく丁寧な教えて、1年生も上手に稲を刈り取っていました。刈り取った稲はコンバインで脱穀。水田には、子供たちが刈り取った後の稲株が、秋の終わりを告げるかのように並んでいました。



「生涯学習講座」

第4回おいしいおやつづくり教室10・23(水)

～枝豆とはんぺんのサモサとごぼうのフロランタン～

第4回目は、ちょっと時間がかかりました。説明を聞いた時には、イメージがあまりわからなかったのか、取り組むのが大変だったのかなと思いましたが、協力しながら取り組まれたので、不安も少なく上手にでき上がったようでした。

この講座の良さは、グループの中で教え合いながら、和気あいあいと取り組めるところだと思います。

一人では新しいことに挑戦するには、ちょっとした勇気が必要ですが、少人数で顔見知りも多いと、楽しい雰囲気の中で気軽に参加でき、新しいことを知ったり、出来なかったことが出来るようになったりなどの、学びも多いのではないのでしょうか。



枝豆とはんぺんのサモサ



ごぼうのフロランタン

「マルメロジャムづくり」10・25(金)

マルメロジャムを作ったよ！;ふるさとに自信と誇りをもとう

元気が良くて、積極的にマルメロジャムづくりに参加してくれた4年生とマルメロ会は、楽しいひと時を過ごすことができました。慣れない手つきで、硬いマルメロを切るのは大変だったと思いますが、どの子も徐々に手際よく切っていく姿に子供たちの可能性を感じました。

この取組は、子供たちに、古くは江戸時代に走潟の特産であるマルメロを、当時の細川藩が、徳川幕府への献上品としてのお菓子「加世以多」の原料として、使っていたことを知ってもらおうと始めたものです。今住んでいる走潟町のすばらしさを実感してほしいのと同時に、ふるさとに自信と誇りをもって過ごしてほしいと思います。



硬いけどこうやって切るといいよ。

マルメロと砂糖だけでピンクや赤茶色になるんだね。



第6回子供地域活動10・12(土)

《どんぐりのクラフトをつくろう》

子供たちの想像力・創造力は大したものです。今回の講座は、1年生から3年生までが対象でした。

まず、子供たちには、材料を見せたり出来上がりの作品を見せたりしながら、自分なりの出来上がりのイメージを持たせました。指導者の方には、教え込まないこと、困っているときに手伝ってもらうことをお願いしました。

昨年も指導していただいた方々なのでスムーズにいったと思います。今年は、材料に「マルメロの枝」と台木に「梅の枝」を使用しました。どんぐりについては、生育が遅く数が心配されましたが、どうにか1人10個ずつは確保できました。

子供たちの感想としては、楽しかったが多く、工夫できたや手伝ってもらったので良かったなども聞かれました。指導者の方々も一緒にして、楽しかったという感想が多かったようです。高学年と違って、指導の仕方どこまで手をかければ良いか、迷うこともあったと思いますが、子供たちへの寄り添い方が上手で、安心して任せることができました。良い作品がたくさんできました。



11月の行事とお知らせ

- 第4回走潟町ふれあい文化祭 期日: 11月24日(日) 場所: 走潟小学校体育館
主催: 走潟町ふれあい文化祭実行委員会
- 公民館大広間の北側サッシの取り換え工事のお知らせ
10月から11月18日(月)<予定>までの間、ご利用の皆様にはご不便をおかけいたします。大広間の北側3分の1ほどが工事のため、大人数でのご利用の場合、公民館長までご相談ください。